

令和4年10月25日(火)
東根市立大富中学校 校長室

- I 開会 (教頭)
- II 学校長あいさつ
- III 報告・協議

1 今年度中期(第1回学校評価委員会～本日まで)の教育課程・生徒の様子現状

(1) 生徒会活動

- ① 整美委員会企画「廊下真っ白作戦！」
- ② 図書委員会企画「朝の読み聞かせ」
- ③ 朝の活動に見る本校生徒の主體的な生徒会活動
- ④ 東根市内小中学校「スマイルサミット」の開催(ホスト校として)
- ⑤ 異学年交流生徒集会
- ⑥ 地域クリーン作戦
- ⑦ 大富農業カンパニー

(2) 地域の支援を受けての教育課程

- ① 最上川氾濫時に備えた避難訓練
- ② 淡水魚(カクレトミヨ)観察棟清掃ボランティア活動
- ③ 大富地区文化祭「カクレトミヨ標語」参加(口頭説明)
- ④ 質の高い教育を提供するために～保健体育・剣道の授業～
- ⑤ 実生活に根ざす学び～保健体育・空手の授業～
- ⑥ さくらんぼ給食
- ⑦ 第2回PTA委員会
- ⑧ 令和4年後期～令和5年前期 部活動運営委員会
- ⑨ 学校保健委員会の開催

(3) 教育課程

① 学校行事

- ・修学旅行, 運動会
- ・地区総体, 県中総体, 地区新人総体, 県北ブロック大会
- ・英語弁論, 読書感想文コンクール
- ・1学期終業式, 2学期始業式と「適応」をねらいとした日程

② 主體的・協働的な学び～毎日の授業から～

- ・1年調理実習
- ・「アハ&モヤット」～学びの振り返り～
- ・命を守る術を学ぶ～1年着衣水泳～
- ・特別支援学級の学び
- ・1学期期末テストと, テストに向けた「マナビアン week」

③ 総合的な学習の時間

- ・3年薬物乱用教室
- ・キャリア教育～2年職場体験活動～

④ 教員研修

- ・初任者研修
- ・第2回校内授業研究会

⑤ その他

- ・ある朝の出来事
- ・当り前の風景に想う
- ・早朝なのに, まるで夕方の暗さ…

2 1学期学校評価について

3 新型コロナウイルス感染に関すること

4 情報交換(懇談)

5 その他

- IV 閉会 教頭

情報交換（懇談）内容

植松弥内大富公民館館長

- ・先ほど紹介があった通り、本校の剣道の授業に関わり4年目を迎える。本年度は、2・3年生の授業に携わった。本日の授業の様子から、日々、そして毎年の成長を感じることができて、参観してとてもうれしかった。
- ・「声が小さい」ことは、本校に限ったことではない。剣道を通して様々な団体と関わっているが、どの団体でも同じことが言える。マスクの着用やコロナ禍の影響を受けていると言わざる負えない。
- ・まだまだ、3密への配慮は必要だが、意見交換の「密」は、今後さらに濃密にして行ければよい。

須藤真大富小学校校長

- ・先日の合同避難訓練、ありがとうございました。危機管理マニュアルの見直し、更新として、氾濫時の避難経路を3パターン考えている。正解がない中、答えを見つけていくためにも、今後も合同での実施を希望する。
- ・HPの中身について。「キャッチコピー」による発信が覚えやすい。避難訓練では「大富中にいけば大丈夫！」という言葉が記載されていた。本校でも、この言葉を利用していきたい。
- ・授業は、落ち着いて進められているということが私の印象。「表現力とは」について、小中連携のキーワードにしてはと考えた。
- ・カクレトミヨ観察等の清掃ボランティア、企画と実行力がすばらしい。

平澤郁子大富地区民生委員代表

- ・授業で学びの発言（せっかく良い発言をしているのに）や、「字が小さくて見えない…」などの声が大きいと良い。コロナの影響か。
- ・本日の授業参観のように、子ども達に「地域も皆さんを見つめている」という姿を見せる機会が大切。コロナ禍中でもこのような教育を実践していること、もっと地域の人々に知ってほしい。また、本校で実施した「本の読み聞かせ」を、小学校やおおとみ保育園で行える時期が来ることを希望する。

高橋重俊PTA会長

- ・今年度中期の教育課程、生徒の様子の現状について報告がありましたが、コロナ3年目、苦慮しながらも、これだけ様々な教育計画が実行されたことに感謝したい。特に、修学旅行に関しては、昨年度から、開催時期とねらいについて長期的なビジョンを持ち、3学年保護者会と共有して進め、県外での学びを実現できた。
- ・地域の「資源」を学校教育に、大いに活かしていることが分かる。また、地域と共有して教育計画を実行していこうとしている。先に行われた臨時PTA役員会では、部活動の任意加入制について了解された。今後の地域移行等、「少しずつ」ビジョンが共有されることに意義がある。
- ・GIGA スクール構想2年目。本日の授業でも、文房具のように扱い使用している生徒の姿があった。また、一斉での学びの場面の「大型モニター」の必要性を感じた。和心会等の協力を得るところも必要である。

片桐清大富中学校校長

- ・新型コロナ関連に関する、本校保護者の適切な対応に心から感謝している。各ご家庭から、逐一報告、連絡、相談をいただいた。オンライン学習等も活用し、今後も確実に生徒の学びを保障していく。